

菅茶山 顕彰会 会報

第 24 号
発 行

菅茶山顕彰会
2014年3月1日



茶山生誕265年祭で「神辺の四季」合唱（神辺小児童）

茶山生誕二六五年祭にあたり 菅茶山顕彰会会長 鶴野謙二

「菊薫るかぎり 茶山の文化あり」

今年には菅茶山生誕二六五年祭にあたります。菅茶山顕彰会は、発
足以来、神辺における教育と文化の先駆者菅茶山の「遺芳・遺徳」
を、五年目ごとの「菅茶山生誕祭」を基軸として顕彰活動を継承し
ております。その功績に対し、昨年十一月十六日、広島県文化財協
会より表彰状を贈られました。

さて、ここ神辺平野は、今年も豊穡の秋でしたが、気候変動、異
常気象により、全国各地に猛暑、台風、局地的な大雨洪水、竜巻等、
甚大な災害をもたらしました。また、2011・3・11の東日本
大震災の復興は遅々としておりますが、復興支援活動とその支援ソ
ング「花は咲く……生きていく絆」は全国各地に広がり歌われてお
ります。茶山の思想、人物像（中庸の美徳の精神）と重なるので
ないでしょうか。

菅茶山が拓いた「黄葉夕陽村舎」の塾名は、南に聳える故郷の山
「黄葉山」と神辺平野に沈む美しい夕日から名づけられたといわれ
ております。菅茶山の感性ではないでしょうか。

菅茶山は「黄葉夕陽村舎」の存続を福山藩に願い、郷塾「廉塾・
神辺学問所」として、明治維新の学制改革まで約百年間、学問と文
化の種を蒔き、全国各地から学問を志して訪れた塾生を「学種」と
して大切に教育してきました。この学問所で学んだ学種が全国各地
に咲かせた教育・文化の花は、全国各地の研究者によって顕彰され
ております。

神辺町内の各小学校では、毎年、「史跡めぐり」（神辺ライオン
ズクラブ主催）で菅茶山の遺芳・遺徳を偲び、また、毎日、授業前に
茶山詩の素読をしております。将に、廉塾及び菅茶山の「遺芳遺徳」
は神辺の歴史的文化遺産であり、誇りうる宝ではないでしょうか。

記念すべき生誕祭には記念講演会を開催しました。講師は現代教
育研究所代表（元盈進中学校長）杉原耕治先生。演題は、「神辺の
歴史と文化、菅茶山の歩いた道」。神辺文化会館小ホールはほぼ満
席で「分かりやすく、楽しく拝聴できた」と好評でした。地域各位
のご支援、顕彰会理事の原動力に感謝申しあげます。

平成二十五年度菅茶山顕彰会の会長を受け継ぐことになりました。
顕彰会活動の継承と更なる発展に寄与していきたいと思っております。
各位には今後とも、ご支援、ご鞭撻、ご協力をよろしくお願い
いたします。